

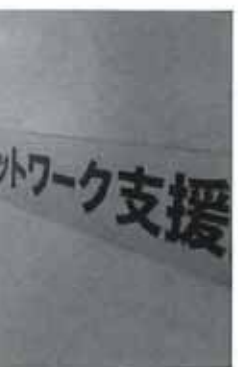
全商協

RSN支援室対応、8月から3カ月で75件

日本遊技機工業組合(全次全)理事長長ならびに全国遊技機商業協同組合連合会(中村昌男会長)が「ばちんこ依存(のめり込み)問題への対応のため、連携した取り組みとしてリカバリーサポート・ネットワーク支援室を設け、8月3日のサービス開始より3

カ月(8月~10月)の相談件数は累計75件となった。同支援室は、東京都台東区の本協事務所内に新設され、11月13日業界誌に公開された。公開に際して、中村会長は「安心娯楽宣言」として、依存相談をスムーズにRSNへつな

相談件数は228件で、その内1割を支援室が対応している。対応時間は平均15~30分位」と、RSN本来の相談業務を円滑に支援する活動が順調に推移しているとした。この対応に加え、「ばちんこ依存は、ひとりで悩まず、お電話を」とRSNの電話番号をプリントした啓蒙ポケットティッシュを全国規模で配布を予定していることも発表。全商協傘下の8組合が共同して実施していくもので、11月17日~19日の第一弾として関西遊商からスタートし、近



表「パチンコ(パチスロ)遊技が身近で手軽な娯楽であるという原点を確認、共有し、多くの国民に愛される産業として健全な発展を遂げることを目的として、①ファンが多様なニーズに応えられる遊技の創設と遊技機の開発推進、新たなファン獲得のための諸活動を実施

②のめり込み防止対策、引き防止などの防犯対策を通じ、お客様が安心できる遊技環境の提供を重点的に取り組む、とする宣言。



のめり込み以外について、パチンコに関する質問や苦言、要望など相談者の相談について支援室では柔軟に対応している

けるべく、対応の一助となっていることを説明した。2名の専従スタッフを配置して運用をスタート、支援室はRSNと電話回線を共有し、RSNに掛かってくる依存問題以外の電話に対応している。パチンコ店でのポスター掲出などにより相談者が電話をかけること「のめり込み相談」は「1」を、「それ以外の相談」は「2」を」とガイダンスが流れる。「2」を押しした場合、電話はRSN支援室につながる。

中村会長は、支援室を立ち上げた経緯と意義を改めて説明。「RSNの10月の相談件数は228件で、その内1割を支援室が対応している。対応時間は平均15~30分位」と、RSN本来の相談業務を円滑に支援する活動が順調に推移しているとした。



中村会長は「間違い・無言」が減少したようです」と相談対応の人員確保にも気を配っていた

パチンコは適度に楽しむ遊びです。

パチンコ依存は、ひとりで悩まず、お電話を

NPO法人
リカバリーサポート・ネットワーク

TEL 050-3541-6420

全国遊技機商業協同組合連合会は、リカバリーサポート・ネットワークのパチンコ依存防止活動を応援します。

RSN相談先の電話番号をプリントしたポケットティッシュ